

【テンポラリーランナー】

ルールブックを見てもわかりにくいこのルールについて解説します。

2015年からテンポラリーランナーという聞きなれない用語が使われるようになりました。

テンポラリーランナーとは臨時代走の英訳です。単純に、横文字読みしているだけです。

但し、このルールはソフトボールのみで適用され、野球では適用されません。

「臨時代走」は、打者走者が塁上で負傷し、次のプレーができないと判断されたときにベンチから代わりの走者を出します。

この点は、ソフトボールも野球も変わりはありません。

しかし、「テンポラリーランナー」は、捕手および投手(※)が打者走者となった場合のみの適用です。

※2023年のルール改正により次の回への準備投球のため、投手も対象となりました。

【適用条件】

- ① 2アウト
- ② 捕手および投手が塁上にいる。
- ③ 強制ではありません。

【目的】

捕手は、レガース、プロテクターの装着に時間がかかります。

投手も、野球同様2アウトから準備投球をする選手もいます。

イニング間にこれを行うと、試合時間に影響(わずかですが)します。

これを、少しでも解消しようという狙いで、適用となりました。

【使い方】

- ① 監督がタイムをかけます。
- ② 監督が、「テンポラリーランナー」と審判にコールします。
- ③ 塁上にて捕手および投手がテンポラリーランナーと交代します。
- ④ 試合が続行されます。
- ⑤ 捕手および投手が次の守備の準備をします。

【交代選手を間違えた場合】

現在日本では罰則対象とはなっていませんが、気づいたときには速やかに審判が交代させます。

尚、国際ルールではすでにアピール対象となっています。

